



### 茨城県の近代化遺産

(建造物等)

#### 旧報徳銀行水海道支店

常総市水海道宝町2784番地

建物は、大正7年（1918年）から12年（1923年）の間に現在地に建築されたと考えられている。『旧報徳銀行水海道支店建物の歴史的検証報告』（平成18年、時野谷茂）によると、現在の構造は煉瓦造、屋根は鉄骨小屋組の上に折板葺きで、2階建て。現在の姿は昭和58年の内部火災後に改修されたもの。常総市の指定文化財であり、市では保存・再利用を計画している。

[出典：茨城県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書 茨城県教育委員会刊]

#### 主な内容

- ▼ 新春賀詞交歓会で飛躍を決意
- ▼ 12支部長が今年の抱負
- ▼ 関東地方整備局と意見交換会開催
- ▼ 鳥インフルエンザ防疫活動に尽力

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 業界全体で大いなる飛躍の年へ

## 令和5年 新春賀詞交歓会を開催

本会は1月12日、茨城県建設技術管理センター、茨城県建設業協同組合との共催による令和5年の新春賀詞交歓会を水戸市の水戸京成ホテルで開催しました。本会の石津健光会長は「次代を担う人材の確保・育成に不可欠な働き方改革に取り組み、新しい3K（給料が良く、休暇が取れ、希望が持てる業界）に衣替える努力を重ね、地域の守り手という社会的使命を継続して果たしてまいりたい。業界全体として飛躍の年となるよう、ご支援ご協力をお願い申し上げる」とあいさつ。参加者は、本年を飛躍の年とすることを誓い合いました。

賀詞交歓会は、新型コロナウイルス感染症予防対策と社会経済活動の両立を図るため、参加者を絞って開催。来賓として大井川和彦茨城県知事や本県選出国會議員、県議會議員、県幹部職員、県内建設関連各団体の代表などを招きました。



石津会長

主催者あいさつで石津会長は、昨年の協会活動への協力に感謝を表すとともに「建設未来協議会や建女ひばり会の活動などを中心に若者や女性が活躍できる建設産業づくりを進め、担い手確保につなげてまいりたい」と抱負。

また鳥インフルエンザなどの防疫作業に尽力していることを紹介し、「地域の安全・安心を守るという強い使命感をもって作業に携わった会員各位に感謝を申し上げます」と述べました。

そして「次代を担う人材の確保・育成に不可欠な働き方改革に取り組み、新しい3K（給料が良く、休暇が取れ、希望が持てる業界）に衣替える努力を重ね、地域の守り手という社会的使命を継続して果たしてまいりたい。業界全体として飛躍の年となるよう、ご支援ご協力を」と呼び掛けました。



業界全体の発展を決意した賀詞交歓会



本年の飛躍を期して乾杯しました

来賓からは大井川知事などが祝辞を披露。本会の発展、県勢の発展に期待を寄せました。

その後、高橋靖水戸市長の発声で出席者が乾杯。本年の飛躍を誓い合いました。アトラクションとしてバイオリンやチェロ、ピアノの演奏も行われました。

# 本会の躍進に期待の声 来賓から祝辞



**大井川和彦 茨城県知事**

鳥インフルエンザ防疫作業に感謝申し上げます。本年は企業の活動が活発になる年としたい。県内産業の活性化が県内建設業の仕事につながる好循環を目指していく。



**国光文乃 衆議院議員**

県南地域で交通インフラなどの整備が進んでいる。感染症対策として、安心して工事に取り組んでいただけるようにしていく。皆さまの飛躍を祈念申し上げます。



**額賀福志郎 衆議院議員**

国の安全対策、国土強靱化などに、皆さんのご意見を踏まえながら対応していく。燃料高や資材高騰などにも、しっかりと対応していくことをお約束する。



**佐藤信秋 参議院議員**

国土強靱化、週休2日をさらに推進していく。従業員の賃上げを進めていくためには設計労務単価のさらなる引き上げが必要になる。一緒に頑張っていこう。



**梶山弘志 衆議院議員（自由民主党幹事長代行、自民党茨城県支部連合会会長）**

防災・減災対策の推進や資機材価格の高騰などに対応している。しっかりとした公共投資が民間投資につながる。建設業をしっかりと支え、飛躍の年としていく。



**上月良祐 参議院議員**

国土強靱化をはじめとして予算を確保していく必要がある。発注をより良くしていくことも必要。石津会長を中心に、大いに発展につながる1年となることを祈念する。



**田所嘉徳 衆議院議員**

賃金が上がるような経済が重要になる。インフラ整備、国土強靱化、長寿命化を積極的に進め、給料が上がり後継者が育つ素晴らしい業界となっていきたい。



**加藤明良 参議院議員**

コロナ禍、物資の高騰などに対応してまいりたい。公共投資が県内の発展につながる。建設業の及ぼす力は大きい。皆さまのご尽力を心からご期待申し上げます。

## 12支部長が今年の抱負 切磋琢磨し、レベルアップを

水戸支部

下田 德行 支部長



建設業界は働き方改革や担い手の確保などの課題もある。各社もレベルアップを図り、人が定着する会社にしていきたい。支部としてもレベルアップしてまいりたい。

太田支部

瀬谷 實 支部長



働き方改革など新しいやり方が試されている。各種講習会を開くなどして対応したい。地域の安心安全を守るインフラ整備、ボランティア活動を積極的に行っていく。

常陸大宮支部

高野 潔 支部長



日ごろより技術の研さん等の不断の努力が重要。会員同志が意見交換しながら進んでいきたい。技術革新への対応も進めてまいりたい。地域防災の担い手の役割も果たしていく。

大子支部

大藤 博文 支部長



働き方改革や生産性向上など、多くの課題に積極的に取り組み、各事業所の持続的発展に努め、そして今年も“町医者”として、住民の安全・安心な暮らしを守る役目を果たしていきたい。

高萩支部

秋山 光伯 支部長



新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、視察研修なども行っていきたい。支部全体として切磋琢磨して、協調しながら仕事を進めていってほしい。

鉾田支部

羽生 義隆 支部長



大雪などで国土強靱化のインフラ整備の重要性が改めて分かった。建設業は地域の安全安心確保の守り手。発注機関と意見交換を行い、公共事業費の増額を要望していく。

潮来支部

松崎 里志 支部長



コロナ禍の厳しい中、支部員のおかげで運営ができています。これからも週休2日制の導入や若手の雇用促進とさまざまな課題に、一つ一つ取り組んでいきたい。

竜ヶ崎支部

細谷 武史 支部長



限られた時間で適切な工事を進めるため、発注者などと活発に意見を交換し、先端技術を取り入れ作業の効率化を図っていく必要がある。本年も前進していきたい。

土浦支部

小林 伸行 支部長



いつ災害があるか分からない状況である。迅速に対応できるよう整えておく必要がある。地域の守り手である建設業が広く理解されるようアピールしていく。

筑西支部

小薬 拓巳 支部長



ICTやASPなどが組み込まれ、インボイスや残業規制など慣習通りにはいなくなる。うさぎのような慎重さで安全への配慮を欠かさず、より良い一年としていきたい。

常総支部

中川 原 勇 支部長



建設業界は若い人材の採用や働き方改革、ICT活用推進などチャレンジしていかなければならない。会員の皆さまと意思疎通を図りながら進めていきたい。

境支部

新井 孝 支部長



昨年は鳥インフルエンザへの対応があった。安全と危機管理を考慮しておくことが必要。ICT活用などの勉強会を開催しスキルアップにつなげていきたい。

## 関東地方整備局と 意見交換会

# 連携して週休2日実現を

本会をはじめとする1都8県の建設業協会は1月23日、国土交通省関東地方整備局との意見交換会をWEB方式で行いました。本会からは、週休2日の実現へ発注者と一緒に柔軟に取り組んでいくことを要請。さらに適正ロットでの発注、詳細設計の精度向上、地元を熟知している地元コンサルタント企業の活用などの検討などを要望しました。

本会からは、細谷武史副会長が参加。細谷副会長はあいさつで、国や県と連携を図り、オール茨城体制で直轄工事の不調・不落対策に取り組んでいることを紹介。また令和6年4月から適用される時間外労働の上限規制や週休2日へ向けて、今年4月から公共工事は週休2日を基本に実施していくことを説明しました。

そして「発注者側も一緒になって週休2日や労働時間上限規制の理解を深めていきたい」と要望しました。



本会からは細谷副会長がWEBで参加しました

意見交換では、時間外労働の上限規制の課題と対応を整理。「週休2日制対象工事の実施状況」の指標を区市町村工事へ適用拡大を検討することや、書類スリム化を図る建設ディレクター制度の水平展開などを話し合いました。

そのほか関東整備局では、令和5年度からBIM/CIMを原則適用することを紹介。中小企業も含め裾野を拡大するほか、3次元モデルの活用（義務項目、推奨項目）などを説明しました。

## 八千代町の鳥インフルエンザ防疫作業に出動

八千代町の養鶏場で確認された高病原性鳥インフルエンザに対し、本会では県からの要請に基づき、2月4日から2月9日まで県西地区の常総支部、筑西支部、境支部をはじめとする6支部の会員企業が交代で防疫作業に尽力しました。

「地域の安全・安心の守り手」という本会の社会的使命を果たしています。

防疫活動は、茨城県と締結している「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定書」に基づき、県からの要請によって実施。

作業（殺処分）は、常総、筑西、境、竜ヶ崎、土浦、潮来の各支部が3交代で対応しました。

なお本会では、坂東市で発生した鳥インフルエンザの防疫作業にも、2月11日から対応しています。



## 今年の飛躍誓う

### 舗装部会が賀詞交歓会

舗装部会（秋山光伯部会長）は1月18日、茨城県アスファルト合材協会（石津健光会長）との合同による令和5年賀詞交歓会を水戸ドライブインひたちの里で開催。今年の飛躍を誓いました。



秋山部会長

秋山部会長は「原油価格の高騰や円安など大変な時期を迎えているが、皆さんと荒波を乗り越えていきたい」と呼び掛けました。

石津会長は「未来に対し、真剣に業界のあり方を考えなければならない時期にある。魅力ある業界として若い人が入ってもらうためにも、働き方改革を進めなければならない」とあいさつしました。

## 佐野中の生徒に建設業を紹介

### 土木委員会



土木委員会（梅原基弘委員長）は昨年12月16日、ひたちなか市立佐野中学校で行われた「職業についての話を聞く会」に講師として参加。大曾根理一郎委員（株大曾根建設代表取締役）が自身が建設業に携わった経緯や仕事のやりがい、建設業の必要性や課題、今後の展望などを説明しました。大曾根委員は「建設業はエッセンシャルワーカー。皆さんの当たり前の日常を支え、未来を創ることが魅力であり、やりがい」と話しました。

## ICTや時間外労働を学ぶ

### 建設業活性化フォーラム



本会は2月1日、茨城県土木部と共に令和4年度の建設業活性化フォーラムをオンライン上で開催。ICT活用と時間外労働の上限規制への対応について、92名が理解を深めました。

ICT活用では、ICTを「使える」から「生かせる」ような人材育成が重要で、導入の利点が示されました。時間外労働の上限規制への対応では、令和6年4月からの変更点を踏まえ、通常の限度時間を超える場合は特別条項が必要で、自社の現状分析から取り組むよう説明がありました。

## 公共事業費281億円を追加

### 県の1月補正予算

茨城県は令和4年度1月補正予算で公共事業費281億6,700万円を追加しました。国の補正予算に対応し、防災・減災、国土強靱化などを推進します。

主な公共事業費は次の通りです。

#### 【直轄事業負担金＝82億700万円】

◆東関東自動車道水戸線、那珂川治水など

#### 【補助事業＝199億6,000万円】

◆道路整備＝国道118号袋田バイパスほか44カ所

◆橋梁修繕等＝国道461号湯の里大橋ほか27カ所

◆河川改修等＝涸沼川ほか40カ所

◆防潮堤整備等＝鹿島港海岸ほか2カ所

◆農地の大区画化等＝三坂地区ほか10カ所

#### 【鹿島臨海都市計画下水道事業＝2億4,500万円】

◆下水処理場設備改築1カ所、管渠改築1カ所等

大子支部  
活動報告

働き方改革へ  
意見交換会

大子支部（大藤博文支部長）は1月19日、茨城県大子工務所（兼澤公也所長）との意見交換会を大子合同庁舎で開催。今後の発注見通しや総合評価方式改定、CCUS活用工事の試行などについて意見を交わしました。大藤支部長は「2024年度から適用される時間外労働条件規制に対応



していかなければならない。また地域の守り手として、災害発生時には支部一丸となって迅速に取り組んでいく」と話しました。

竜ヶ崎支部  
活動報告

研修会で  
働き方改革学ぶ

竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は1月18日、働き方改革について研修会を開催。講師の社会保険労務法人葵経営の皆川雅彦代表は「働き方改革へどう考え、どう対処したら良いか悩むことが多い。質疑応答では多くの方に発言を」と話しました。細谷支部長は「地域の守り手として地元建設



業の役割は大きい。しかし労働力の確保が深刻。若手入職者を増やすためにも、各社とも働き方改革に取り組んでほしい」と強調しました。

筑西支部  
活動報告

課題解決へ  
県と意見交換

筑西支部（小薬拓巳支部長）は1月30日、茨城県筑西土木事務所（井上和則所長）との意見交換会を筑西合同庁舎で開催。年度末に向けた懸案事項、工事事故防止対策の徹底などを中心に意見を交わしました。支部員からは、単品スライドの際にかかる書類を簡素化してほしいなどの意見



が出ました。小薬支部長は「建設業は国民から必要とされる仕事。社会資本整備のため、良い意見交換ができれば」とあいさつしました。

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災  
補償制度 **建設共済保険**

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル **0120 - 913 - 931**

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー

## 「建設企業ガイドブック」発行 担い手の確保に活用を!

本会は、県内の主要な建設会社を紹介する「いばらき建設企業ガイドブック 2023」を作成しました。建設業における担い手確保・若年者の入職促進を図るため、90社を掲載しています。8,000部を発行し、県内の高校・大学・専門学校など関東を中心とした約300校へ配布します。

ガイドブックでは、まず土木と建築の仕事の内容や特徴を紹介。

さらに県内全域の主要建設企業90社につきまして、会社概要、代表あいさつ、会社の特徴、施工事例、会社からのメッセージなどを掲載。「先輩インタビュー」として各社の若手社員の仕事の内容、やりがい、一日のタイムスケジュールなども掲載しています。

ガイドブックは本会のホームページにも掲載しています。ご活用ください。



## チャリティー金を寄付 建設未来協議会



鈴木会長（左から2人目）などが寄贈しました

建設未来協議会（鈴木達二会長）は1月23日、チャリティー収益金など10万円を土浦市内で児童養護施設を運営する社会福祉法人茨城県道心園（横田直和理事長）へ寄付しました。協議会が中心となって制作した「いばらき建設図鑑」も子供たちへ贈呈。鈴木会長は「子供たちのために役立てて頂ければ幸いです」とあいさつしました。

## 会員の動向

### 〈社名変更〉

- ▽常総支部  
(有)門井建設 → (株)門井建設

### 〈代表者変更〉

- ▽常陸大宮支部  
東康建設工業(株) 澤島 康男 → 澤島 弘樹
- ▽竜ヶ崎支部  
柳町トレンチャー(株) 柳町 禮子 → 柳町 陽子
- ▽筑西支部  
(株)長谷川興業 長谷川 高 → 長谷川 聡美

### 〈住所変更〉

- ▽潮来支部  
(株)和城産業 〒314-0021 鹿嶋市粟生字東山2303  
→ 〒314-0018 鹿嶋市平井東4-1-12
- 石津産業(株) 〒314-0012 鹿嶋市平井861  
→ 〒314-0018 鹿嶋市平井東2-5-1